

様式第5号（第2条関係）

平成21年4月28日

大崎市議会議長 青沼智雄 様

会派等名 大 志 会
代表者名 関 武徳 印

平成20年度政務調査費収支報告について

大崎市議会政務調査費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、別紙のとおり政務調査費収支報告書を提出します。



(別紙)

平成20年度政務調査費収支報告書

会派等名 大志会

1 収入

政務調査費 400,000 円

2 支出

科 目	金 額(円)	備 考
研 究 研 修 費	230,200	地方自治経営学会研究大会
調 査 旅 費	169,800	北海道石狩郡当別町 恵庭市アレフ(株)
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
広 報 費		
公 聴 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
そ の 他 の 経 費		
合 計	400,000	

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額

0 円

政務調査活動概要報告書

会派等名 大志会

1 調査研修事業

(1)視察・研修日

平成20年5月22日(木)～平成20年5月23日(金)

(2)視察・研修地

地方自治経営学会研究大会(東京都千代田区平河町 日本都市センター会館)

(3)視察・研修者名(5名)

関 武徳・山村 康治・相澤 久義・富田 文志・相澤 孝弘

(4)視察・研修内容

「明日の地方の方向を問う」を全体テーマとし、地方分権、地方交付税、地域格差問題はどうか等々の課題ごとに、パネルディスカッション及び、「これからの政局の動向と地方自治、財政の行方」について、嘉田由紀子滋賀県知事から、「もったいない」の理念に基づく県政運営の実践等の講演、「地方はどう立ち上がるか、財政の窮迫、地方分権停滞感の中で」を前鳥取県知事、片山善博氏から、他、「地方の危機、崩れていく地方都市」、「地方農山村迫る限界集落の危機」等、地方自治体による事例報告、講演等。

2 調査研修事業

(1)視察・研修日

平成21年3月23日(月)～平成21年3月24日(火)まで

(2)視察・研修地

北海道 当別町
恵庭市

(3)視察・研修者名(5名)

関 武徳・山村 康治・相澤 久義・富田 文志・相澤 孝弘

(4)視察・研修内容

本市が位置づけている、物産振興、産品開発、ブランド化や、バイオマスタウン構想、環境保全型農業、ラムサール条約登録湿地の賢明な利用、地球温暖化対策率先実行計画等について、本市との係わりが深い両視察地の実践、先進事例を調査、関係職員による説明・情報交換・資料収集を通して、今後の施策展開の参考に資した。

当別町 「ふれあい倉庫」の運営と効果

市民活動の育成と人的交流の拡大

賑わい創出と物産振興

アンテナショップ「道産食彩HUG」の出店効果と産品開発、ブランド化の取り組み

恵庭市（株式会社アレフ）

食の安全、安心への取り組み

市民活動の育成と人的交流の拡大

独自の環境行動計画

社会的な取り組み

アなたねプロジェクト

イふゆみずたんぼプロジェクト

ウ生態系を守る取り組みについて 他